

ようじえんだより 2023年度1月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

1月主題『やってみたい』

主題聖句：わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネ福音書15章5節

☆ 0歳児：神さまに守られていることを感じる。友だちや保育者と一緒にいることを喜び、関わり合う。自分でやってみようとするが増える。(保育者は)遊びや生活リズムを見直し、個々の育ちに添った配慮をしていく。

☆ 1～2歳児：神さまに愛され守られていると感じ喜ぶ。友だちの真似をしたりされたりして遊ぶ楽しさを感じる。冬の自然の中でも身体を動かす楽しさを感じる。(保育者は)子どもたちの生活を整え、子ども自身がやってみようとするのを援助する。

☆ 3歳児：クリスマスにお生まれになったイエス様に親しむ。友だちや保育者に自分の思いを言葉で表現し、お互いに聞き合う。霜柱、氷、雪など冬の自然の不思議さを感じ、触れながら遊ぶ。(保育者は)つながりを大切に、新しい遊びや生活を共に紡ぎ出す姿を支える。

☆ 4～5歳児：クリスマスの恵みを味わいながら、イエス様の物語を通して聖書の世界を身近に感じる。伝承遊びやお正月の遊びにも関心をもち、新しい遊びをじっくり見たり、取り組んだりする。冬の冷たさを身体で感じ、不思議さや面白さを伝え合い、調べたり試したりする。(保育者は)伝え合い、考えを出し合い、生活を創り出していけるよう環境や働きかけのあり方を考える。

乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること⑨～少しのドキドキ体験と「自分で決める」ことの大切さ～

あけましておめでとうございます。年が明けるとクリスマスがずっと前のことに思えますが、今年度のクリスマス祝会も子どもたち一人ひとりの成長が垣間見られ大変うれしく思いました。十日町幼稚園では発表会は他園と比べると少ないかもしれませんが、それは大人に見せるための発表会は子ども自身の成長にはあまり繋がらないために回数は多くはありません。しかし日頃の生活の中での育ちを発表する場は大切であると考えていま

す。そしてそれは少しのドキドキを含む体験であり、少しのドキドキ体験を乗り越えることで子どもたちは自信をもち、目に見えて成長していきます。

ただしドキドキする体験は他者から強いられたい頻回であると疲れてしまいます。十日町幼稚園の保育は子ども自身が決める範囲をできるだけ多くとるようにしています。「私は〇〇はしないけど、△△はする」と子ども自身が決めたことを極力認めるのです。そして子ども自身が決めたことをその子自身が成し遂げた時もまた、その子は目に見えて大きく成長していきます。 園長 久保田愛策

年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節